

# 久喜市放課後子ども教室（ゆうゆうプラザ）



1

## 1 久喜市の放課後子ども教室とは

### ＜ゆうゆうプラザの名称＞

子どもたちが、家庭や地域の人たちに見守られながら、自然や文化・芸術、スポーツ活動に親しみ、**友**達と思いきり**遊**んでほしいとの願いから、「ゆうゆうプラザ」の名称がつけられました。



2

ゆうゆうプラザ<キャッチフレーズ>

より楽しく  
より生き生きと  
ともに！

※「ともに」は 「共に」  
「友に」

3

## 2 ゆうゆうプラザの歩み

「地域子ども教室推進事業」 <文部科学省>

|        |             |
|--------|-------------|
| 開設年度   | ゆうゆうプラザ名    |
| 2005年度 | くきっ子（久喜小）   |
| 2006年度 | さくらっ子（久喜東小） |



さくらっ子《工作》



くきっ子《編み物》

4

## 「放課後子ども教室推進事業＜文部科学省＞」

開設年度  
2007年度  
2008年度



本町っ子《マジック》

ゆうゆうプラザ名

清久っ子（清久小）  
なでし子（江面第一小）  
本町っ子（本町小）  
あおばっ子（青葉小）  
ほくとっ子（久喜北小）



清久っ子  
《ソフトバレーボール》

文部科学省「総合的な放課後対策推進のための調査研究」  
「地域とつくる子どもの居場所」DVD制作に協力

5

2009年度 太田っ子（太田小）  
光の子（江面第二小）  
あおげっ子（青毛小）

埼玉教育ふれあい賞 受賞

2010年度 桜田（桜田小）



あおげっ子《茶道》



桜田  
《子ども実施委員》

久喜市・菖蒲町・栗橋町・鷺宮町の1市3町が合併  
新「久喜市」誕生



久喜市  
K U K I

6

2011年度



栗くり  
《飛ぶものを作ろう》

三箇（三箇小）

かやまっ子（栢間小）

おばやし（小林小）

けやきっ子（東鷲宮小）

栗くり（栗橋小）

文部科学大臣賞 受賞

2012年度

わしの子（鷲宮小）



しょうぶっ子  
《フロアカーリング》

2013年度

しょうぶっ子（菖蒲小）

みなみっ子（栗橋南小）

7

2014年度



すなはら《ミニバスケットボール》

すなはら（砂原小）

かがやきっ子（上内小）

東っ子（菖蒲東小）

2015年度

しずかっ子元気（栗橋西小）

しずかっ子元気  
《パフォーマンス書道》



8

2019（令和元）年度

久喜市放課後子ども教室 15周年記念式典開催

2021（令和2）年度 えづらっ子（江面小）

江面第一小（なでし子）と江面第二小（光の子）の統合による  
22小学校すべてでゆうゆうプラザの活動が進む

2023（令和5）年度 新「わしの子」誕生（鷺宮小）

上内小（かがやきっ子）が休校となり、鷺宮小（わしの子）に  
統合。ゆうゆうプラザは21小学校すべてで活動

2024（令和6）年度 20周年記念

ゆうゆうプラザフェスティバルを市内7地区で開催  
参加者総数 1060名

9

### 3 ゆうゆうプラザの基本的な考え方

○「子どもたちが放課後安心して、安全に、  
のびのび過ごせる居場所をつくる」

○「子どもたちの健やかな育ちを支える  
地域環境・地域コミュニティをつくる」

10

## 4 ゆうゆうプラザの様々な活動

- a 学 習
- b スポーツ活動
- c 文化・芸術活動
- d イベント



桜田《図書室ひろば》

11

### a 学 習

宿題 自主学習 読書 読み聞かせ  
 論語 朗読 英語活動 そろばん 習字  
 理科実験 合唱・器楽合奏 手話 自然観察  
 農業体験 等



しょうぶっ子《菖蒲中アート部》

12



# a 学 習



太田っ子  
《料理A&B》



本町っ子  
《世界のことで遊ぼう》



えづらっ子  
《器楽》



おばやし  
《遊びの教室》

13



栗くり  
《ロボット製作》



みなみっ子  
《サイエンス・ラボ》



すなはら  
《ゆうゆう塾  
100マス計算》



けやきっ子  
《将棋》

14

## b スポーツ活動

(屋外)

ドッジボール    サッカー    ティーベースボール  
タグラグビー    グラウンドゴルフ    陸上競技  
屋外遊び    等

15

## b スポーツ活動

(屋内)

バドミントン    ソフトバレー    卓球  
ミニテニス    室内あそび  
剣道    弓道    跳び箱    ボッチャ  
ニュースポーツ    チャレンジスポーツ    等

16



## b スポーツ活動



くきっ子  
《ラン・ラン  
・ラン》



あおげっ子  
《ポッチャ》



あおばっ子  
《ティー  
ベースボール》



弓道  
ほくとっ子  
《弓道》

17



しずかっ子元気  
《めざせホール  
インワン》



三箇  
《ヒップホップ  
ダンス》



太田っ子  
《ミニテニス》



わしの子  
《バドミントン》

18

## c 文化・芸術活動

昔の遊び 日本舞踊 フラダンス  
 ヒップホップダンス お囃子 三味線  
 囲碁 将棋 茶道 写真  
 生け花 絵手紙 押し花 編み物 手芸  
 陶芸 木工工作 石鹼づくり  
 料理 ロボット製作 ゆうゆうプラザ新聞 等

19

## c 文化・芸術活動



くきっ子  
 《やさしい  
 トールペイント》



清久っ子  
 《フェルト手芸》



さくらっ子  
 《アートバルーン》



しょうぶっ子  
 《おはやし太鼓》

20



かやまっ子  
《三味線》



東っ子  
《フラワー  
アレンジメント》



みなみっ子  
《親子で  
びんフラワー》



桜田  
《陶芸》

21

## d イベント

開校式・閉校式 親子クッキング 子ども祭り  
親子そば打ち・うどん打ち体験  
クリスマス会 地域老人会との交流  
各種団体との交流・活動の発表  
子ども実施委員活動  
まなびすと久喜 等



おばやし 《ささらで遊ぼう》

22

## d イベント



かやまっ子  
《サツマイモ  
の収穫》



ほくとっ子  
《ペットボトル  
ロケット》



栗くり  
《くりくりコロッケ》



けやきっ子  
《親子でそば打ち》

23

## 受付から下校までの活動の目安 【平日・放課後】

|                    |             |
|--------------------|-------------|
| 学校の下校(5時間授業の日)     | 14:55       |
| ゆうゆうプラザの <b>受付</b> | 15:00～15:10 |
| <b>活 動</b>         | 15:10～16:15 |
| 下校準備               | 16:20～16:30 |
| <b>集団下校</b>        | 16:30       |

※授業終了時刻の早い学校が幾つか出てきており、15時前に活動を始めるプラザもある

11月～2月は早めの下校(16:00前後)

24



## 受付から下校までの活動の目安 【土曜日】

|                    |             |
|--------------------|-------------|
| ゆうゆうプラザの <b>受付</b> | 9:15～ 9:30  |
| <b>活 動</b>         | 9:30～11:15  |
| 下校準備               | 11:15～11:30 |
| <b>下 校</b>         | 11:30(通年)   |
| (保護者が主に送迎)         |             |

25

## 活動の様子(2024・令和6年度)

### 1 児童の活動期間＝講座開設時期

- 最長 6月～翌年2月(9か月)
- 最短 9月～12月(4か月)
- 夏休み いくつかのゆうゆうプラザで実施
- 冬休み 活動なし
- 春休み 活動なし

26



## 活動の様子

### 2 講座開設時期

- 6月～翌2月の間：ゆうゆうプラザによって時期がちがう
- 時期外は、実施委員会やサポーター会議を開催
- 年度末から次年度5月にかけて講座開設準備

### 3 各講座の開設数（令和6年度）

- 最大：44講座（39種目）
- 最少：5講座（12種目）

27

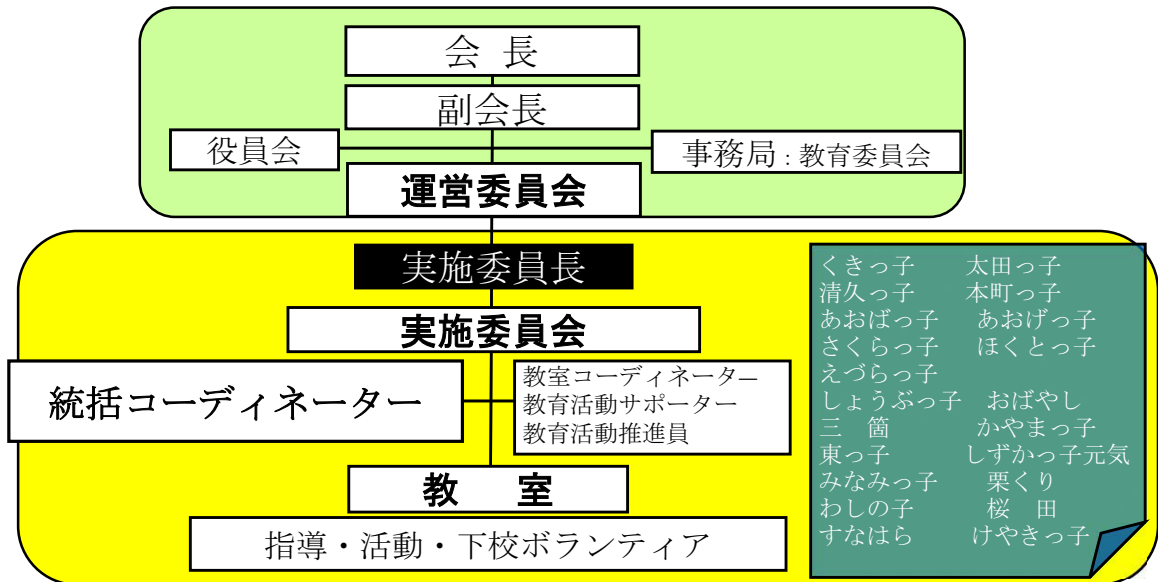
### ゆうゆうプラザ：参加児童数・サポーター数

| 年度  | 児童数  | サポーター数 | 備考    | 年度  | 児童数  | サポーター数 | 備考          |
|-----|------|--------|-------|-----|------|--------|-------------|
| H17 | 202  | 120    | 1プラザ  | H27 | 2879 | 2631   | 23プラザ       |
| H18 | 450  | 343    | 2プラザ  | H28 | 3060 | 2417   |             |
| H19 | 515  | 396    |       | H29 | 3198 | 2497   |             |
| H20 | 1038 | 813    |       | H30 | 3196 | 606    |             |
| H21 | 1587 | 1339   | 10プラザ | R元  | 3247 | 2400   | 15周年        |
| H22 | 1641 | 1480   | 新久喜市  | R2  | 1702 | 555    | 新型コロナ       |
| H23 | 2194 | 2130   |       | R3  | 1623 | 1281   | 22プラザ       |
| H24 | 2199 | 2189   |       | R4  | 1723 | 2276   |             |
| H25 | 2824 | 2186   |       | R5  | 2781 | 1860   | 21プラザ       |
| H26 | 2824 | 2551   | 10周年  | R6  | 2554 | 1792   | 20周年フェスティバル |

令和6年度 参加児童数 2554名 市内全児童の 43%  
 最多プラザ 353名（学校全体の46.1%）  
 最少プラザ 37名（学校全体の16.7%）  
 全校児童の50%を超えるプラザ数 【11プラザ】

28

## 組織運営図



29

## 活動を支えるボランティア

### 運営委員会(35名)

- 年間事業計画
- 各会場の活動についての助言及び調整
- 事業の普及並びに活動の評価・検証
- 研修会・情報交換会等の企画・運営



《第3回 定例会》

30

## 活動を支えるボランティア

### 実施委員会

- 年間活動計画立案
- 参加者(子ども・サポーター)の募集
- 受付から下校までの準備
- 環境整備(教材・教具の準備、管理、広報等)
- 会議の開催(指導者、サポーター)
- 活動づくり・安全管理等の研修会への参加



えづらっ子

《指導者・サポーター会議》

31

### 実施委員数・サポーター数（令和6年度）

- 実施委員数 総計 364名（21ゆうゆうプラザ）  
最多 32名 最少 7名
- サポーター 総計 2554名（21ゆうゆうプラザ）  
最多 353名 最少 37名
- 実施委員でサポーター（指導者など）を兼ねている人もいる

\* 令和7年度はまだ開校していないゆうゆうがあり、未集計

32

## 指導者、ボランティアの研修

- 各ゆうゆうプラザ見学会  
(9月～11月)
- 情報交換会(11月)
- 応急手当法などの研修会(適宜)  
全体・各プラザ

《救命講習会》



《情報交換会》

33

## 活動を支えるボランティア

### 指導ボランティア

- ・経験や特技・能力を生かし、子どもたちの体験活動の指導を行っていただきます。
- ・地域のいろいろな名人さんが来てくれます。

### 活動ボランティア

- ・子どもたちと一緒に遊んだり、活動の見守りをしたりしていただきます。
- ・教えるのは、難しいけれど指導ボランティアのお手伝いをしたり、子どもたちと一緒に活動したりしてくれる方大募集。



《下校ボランティア》

### 下校ボランティア

- ・活動終了後、子どもたちの下校の安全指導を行っていただきます。
- ・活動に参加してから、一緒に帰っていただいても結構です。

34

## 6 成果と課題

### 1 成果

#### ①全体

- ア、学校・家庭・地域の連携、協働が深まった。
- イ、子どもを中心とした人づくり・地域づくりが進んだ。
- ウ、小学校を拠点とするコミュニティづくりが進んだ。
- エ、異世代、異年齢の交流が、新たなつながりへと発展した。

#### ②子ども

- ア、多くの人に認められることで居場所があり、人を思いやる気持ちが強くなった。
- イ、体験活動で味わう達成感を通じて、自主性がついてきた。
- ウ、学校では教わらないことへの期待感やワクワク感が、学ぶことへの興味関心、意欲へと繋がった。
- エ、地域とのつながりが深まり、学校や地域で挨拶ができるようになった。

35

#### ③学校職員

- ア、参加児童の新しい動きや興味・関心の発見に繋がり、対話が増えた。
- イ、保護者や地域住民との交流が拡大し、授業や学校行事等で学校応援団としての関わり・活用がさらに深まった。
- ウ、地域に支えられている学校であることを日々実感し、地域との結びつきがより強くなった。
- エ、放課後の会議・研修会等がない場合、ゆうゆうプラザの活動を参観する職員が増えた。

#### ④保護者

- ア、子どもの喜びが家庭で話題になる等、親子の会話が増えた。
- イ、モノづくりなど様々な体験活動で、子供の成長がたくさん見られた。
- ウ、多くの実施委員やサポーター、子どもとの交流を通じて、学校外でのコミュニケーションが増えた。
- エ、親子参加型の講座が増えて、保護者の理解や協力体制が高まった。

36



### ⑤地域住民

- ア、子どもと親と一緒に活動できる楽しさから、ゆうゆうプラザでのボランティアが「生き甲斐」となっている人が増えた。
- イ、知人や地域住民との交流が増えて日常生活が充実し、張り合いが出てきた。
- ウ、自分の趣味や特技、経験が活かされ、「やり甲斐」が出てきた。
- エ、新しい学びができて、「きょうよう」「きょういく」が増えた。
  - ※きょうよう: 今日用、教養
  - きょういく: 今日行く、共育、教育

37

## 2 課題

- ①実施委員会委員やサポーターの高齢化と後継者育成
- ②PTA・保護者との連携
- ③コミュニティスクールとの連携
- ④IT化・電子化への対応

38

## おわりに

- 1 社会教育の目的は、自分づくり・人づくり・地域づくり
- 2 子どもの姿は、地域社会の姿

子どもや地域住民との関わりを深め、生き生きと活動する地域をつくりましょう。

39

40